

療法名 FTD/TPI単剤

適応 大腸癌
 抗癌剤適応分類 進行・再発癌

第2版	2019年3月改訂
登録番号	大腸-27
登録年月日	2015年9月

投与順	抗癌剤名(一般名)	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	ロンサーフ® (トリフルリジン・チピラシル塩酸塩)	FTD/TPI	70mg/m ²	経口	1日2回、5日間連続経口投与したのち2日間休薬する これを2回繰り返したのち14日間休薬する	

	day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
FTD/TPI	70mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓			↓	↓	↓	↓	↓																		

1コース期間 (次のコースまでの標準期間)	1日2回、5日間連続経口投与したのち2日間休薬する、これを2回繰り返したのち14日間休薬する
総コース数	原則PDまで
コース間での休薬規定	なし

減量規定・中止基準	NEUT1000未満、PLT50000未満で休薬、NEUT500未満、PLT50000未満の時次回クールを減量。コース単位で1日単位量として10mg/日単位で減量。最低投与量は30mg/日まで。
投与量の増量規定	なし
投与間隔の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	単剤のためなし
プレメディケーション	ルーチンではなし
ポストメディケーション	

主な副作用	骨髄抑制、間質性肺疾患、下痢、悪心・嘔吐、食欲不振、疲労
患者条件	PS0、1、T-Bil<1.5mg/dL、AST・ALT≤ULM×2.5(肝転移例は×5)、CRE≤1.5mg/dL、PLT≥75000、Hb≥8、Neut≥1500、ALP≤ULM×2.5(肝転移例は×5)、末梢神経障害Grade2以下
除外規定	①重い末梢神経障害がある患者 ②感染症 ③経口摂取が不能な患者 ④PS3~4 ⑤脳転移を有する患者 ⑥1次および2次療法の患者
実施上の注意点	安全性の観点から空腹時の投与は避け食後1時間以内に服用

治療成績	標準治療2レジメン以上に抵抗性となった切除不能進行・再発大腸癌患者におけるFTD/TPIの有効性および安全性を検証する国際多施設共同第Ⅲ相試験(RECOURSE試験)においてプラセボ群と比較してOS中央値、PFS中央値において有意な延長を認めた。
その他	添付文書においては術後補助化学療法の適応は認められていない。

参考文献 南江堂 リスク別 がん化学療法レジメン 改訂第2版
 大鵬薬品 ロンサーフ®錠適正使用ガイド